

事業名：多文化共生コミュニティビジネス事業

所属 名前	愛伝舎 坂本 久海子	生活部国際室 世古口 正夫
視点1 事業実施中、実施後に話し合いが十分になされましたか。		
視点1-1 ニーズの反映	はい	はい
視点1-2 ニーズの共有	いいえ	はい
特記事項	NPO室との協働事業の検討会の中では、多文化共生について話し合う場が持てましたが、国際室とは「多文化共生社会づくり」の目的、中身、方向性等、話し合うことが十分にはなかったように思います。	
視点2 事業の目的や事業に関わる意義を確認できましたか。		
視点2-1 公共性と行政関与		
・不特定多数の利益	はい	はい
・地域課題の解決、社会変革	はい	はい
視点2-2 協働の妥当性	はい	はい
特記事項	「多文化共生」という内容は、公共性のある社会の問題であるため、市民単独でやれるものではないと思います。協働という事で、知事をはじめ、県の方々が愛伝舎の活動を様々な場で紹介して下さったことは、ありがたいです。	
視点3 それぞれの役割が明確に整理されましたか。		
・役割分担	はい	はい
・責任分担	?	はい
・情報共有	?	はい
・問題発生時の対応	?	?
特記事項	話し合う場が十分にありませんでした。	

所属	愛伝舎	生活部国際室
名前	坂本 久海子	世古口 正夫
視点4 事業を計画的に進めていくことができましたか。		
・事業の目的	はい	はい
・地域ビジョンと事業の方向性	はい	はい
・実施計画と収支計画	?	未記入
・実際にかかる費用分担と予算管理	?	はい
・スケジュールの管理と進捗状況	?	はい
・事業の進捗を客観的に判断する具体的な成果指標	?	?
・成果物の帰属	?	?
・事業完了時期	?	はい
・事業終了後の方向性の共有	はい	はい
特記事項		
視点5 参加・参画の体制づくりはうまく進みましたか。		
視点5-1 当事者性	?	はい
視点5-2 対話	?	はい
視点5-3 意思決定	?	はい
視点5-4		
・役割分担	?	はい
・責任分担	?	はい
・情報共有	?	はい
・問題発生時の対応	?	?
特記事項	実感として、「協働」して話し合ったという感じがなかった ので、上についてはよくわかりません。	
視点6 事業実施段階で欠けていた視点や、今後必要とされる仕組み、制度等はないでしょうか。		
	定期的に情報交換や意見交換の場があると良いかと思 います。NPO室の協働事業での検討会で、行政の方の意見等 聞いたり、情報交換はできましたが、国際室の方針等、あ まりよくわかりませんでした。	